2022年度 日本工学院専門学校											
電子・電気科/電気工事コース											
施工管理技術											
対象	2年次	開講期	後期	区分	必修	種別	講義	時間数	60	単位	4
担当教員	内田寿彦			実務 経験	有	職種	電子・電気科 専任教員				
担当教員紹介											
<p>日本工学院専門学校卒業後、総合電気設備工事会社にて一般住宅からビル・マンション・工場の内線工事に従事。職長を経験後、施工管理技士として主に大手建設会社やデベロッパーから受注した現場の施工管理業務を行う。</p> <p>自営である住宅設備会社に転職後は大手都市ガス会社の委託業務の他、屋内電気配線工事や住宅リフォーム・住宅設備機器の販売や管理業務に従事。同時に日本工学院専門学校電子・電気科の非常勤講師を兼任。専任教員として転職後は主に電気工事実習や高圧電気技術などの科目を担当。</p>											
授業概要											
この科目は、建設工事の施工技術の多様化が進んでおり、建設工事の円滑な施工を確保するために必要な、施工管理技術の重要性を理解することがねらいである。											
到達目標											
この授業では、2級電気工事施工管理技士検定試験の学科試験の合格を目標にしている。											
授業方法											
この授業では、建設業法に定められた営業所ごとに置く選任の技術者、工事現場に置く主任技術者となる資格を取得することを目指す。											
成績評価方法											
試験・課題	80%	試験により評価する									
出欠席	20%	授業の出席業況により評価する									
履修上の注意											
この授業では、過去に出題された問題を説明しながら、練習問題も解いていく。そのため、遅刻や欠席がないようにする。授業時間の4分の3以上出席しないものは定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。											
回数	授業計画										
第1回	オームの法則と合成抵抗、電磁気現象、コンデンサを理解する										
第2回	変圧器、直流機と三相誘導電動機、同期機を理解する										
第3回	照明の基礎、電気加熱、電気化学を理解する										
第4回	水車の種類、タービン設備、内燃力発電所、変圧器、遮断器等を理解する										
第5回	架空送配電線、がいし、電力ケーブル、地中電線路の布設を理解する										

2022年度 日本工学院専門学校	
電子・電気科/電気工事コース	
施工管理技術	
第6回	幹線、分岐線の施設、動力設備、接地工事の種類、高圧受電設備の構成を理解する
第7回	構内交換設備、拡声設備、テレビ共同受信設備を理解する
第8回	電車運転設備、電車線路の施設、信号保安装置を理解する
第9回	空調設備、換気設備、給排水設備を理解する
第10回	建築構造、コンクリート工事、掘削工事、測量を理解する
第11回	屋外変電所の施工、自家発電設備の施工、引込線の施工、低圧屋内幹線の施工を理解する
第12回	各種工程表、アロー形ネットワーク工程表の基本を理解する
第13回	建設業の許可、施工技術の確保と請負契約を理解する
第14回	電気工作物等、電気工事士法、電気工事業法を理解する
第15回	安全衛生管理体制、作業の安全確保を理解する